

令和元年度第3回恵庭創生懇談会議事録（要旨）

日時	令和元年12月23日（月）10：00～12：00
場所	第1、2委員会室
出席者	小磯 修二（一般社団法人地域研究工房代表理事） 守山 英男（北海道石狩振興局地域創生部長） 安保 貴弘（恵庭商工会議所青年部（宏和建设株式会社）） 橘内 勇（学校法人鶴岡学園北海道文教大学学長補佐） 切明 毅（学校法人滋慶学園事務局長） 高橋 正樹（北洋銀行恵庭中央支店長） 高島 信之（北海道銀行恵庭支店長） 大溝 宏（連合北海道恵庭地区連合会長） 矢崎 哲夫（恵庭工業クラブ（サッポロビール株）） 総務部長、企画振興部長、生活環境部長、保健福祉部長、子ども未来部長、経済部長、建設部長、水道部長、教育部長、議会事務局長、消防長
議題	（1）第2期恵庭市総合戦略策定スケジュールについて （2）第2期恵庭市総合戦略の素案について

発言者	内容
司会	【次第1．開催あいさつ】 企画振興部次長 大西より開催のあいさつ。
市長	【次第2．市長あいさつ】 委員の皆様方におかれましては市政各般にわたり、ご協力いただき、ありがとうございます。加えて、ご多忙にも関わらず、恵庭創生懇談会にご出席いただきまして、心から感謝申し上げます。 恵庭市では、委員の皆様からいただいたご意見をもとに第2期総合戦略の策定作業を進めております。令和2年度から5年間の恵庭市のまちづくりを展望する非常に重要なものだと考えておりまして、素案をお示しいたしますので、ご意見をいただけますようお願いいたします。
司会	配布資料の確認。 千歳民報社の尾野様、社会保険事務代行社の佐藤様、千歳職業安定所の山谷様の欠席を伝える。
座長	以下、座長による進行。 第2期恵庭市総合戦略の策定スケジュール、素案について議論したいと思います。

	<p>います。全国の自治体で2期目の総合戦略に向けての取組みが進められていますが、1期の検証結果を踏まえてどのように構築していくのか難しいところです。その中でも恵庭市は先行して取組みを進めているようなので、良さを活かしていただければと思います。</p> <p>次第に沿って議事を進めてまいります。本日は所管部長も出席しているので、皆様ご協力をお願いします。それでは、第2期総合戦略策定スケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【次第3. 議事】</p> <p>(1) 第2期恵庭市総合戦略策定スケジュールについて</p>
座長	<p>今年度中に策定するというので、今回の創生懇談会が2月下旬に予定されており、最終案が示されるということですね。</p> <p>ご質問やご意見がないようでしたら事務局から素案についての説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【次第3. 議事】</p> <p>(2) 第2期恵庭市総合戦略の素案について</p>
座長	<p>委員の皆様から順番にご意見をお聞きしたいと思います。お願いいたします。</p>
A 委員	<p>「駅周辺の賑わいづくり」とありますが、恵み野駅周辺の商業施設が閉店し、空き店舗になっています。駅周辺の大きな建物の電気が消えたままになっているのは非常にさみしく思いますが、今後の展望はいかがでしょうか。</p>
副市長	<p>ご存じのとおり9月末で商業施設が閉店となりましたが、建物自体は札幌の不動産会社が所有しております。情報提供を呼び掛けており、少し動きがあるようですが、具体的には明らかになっておりません。恵庭市としては、これまでと同様の業種を中心に誘致を図りたいと考えています。</p>
A 委員	<p>ありがとうございます。当初、人口減少を想定されていたようですが、人口7万人を達成したので、まちづくりが成功していると感じました。</p>
B 委員	<p>高等教育機関として、地域産業活性化や地域経済活性化といった項目に関心があります。どのような形で行政と連携して人材育成を図っていくかを検討する必要がありますので、スマート農業について具体策があればお聞かせください。</p>
経済部長	<p>現在のスマート農業についてお話いたしますと、稲作における水位管理や水の温度管理で取組みが行われております。今後、自動運転等、様々な展開が考えられますので、関係者と方向性を協議していきたいと考えております。</p>
市長	<p>若い農家の方々と研究会を結成してスマート農業について検討を進めておられるようです。どのように発展させていくのか、農家の方々と行政と農</p>

	協で協議していきたいと考えております。
座長	農業のスマート化は人手不足問題の解決や生産性の向上を目的として急速に関心が高まりました。北海道という地域で農業の大型化が進む中で、新しい動きを恵庭市として受け止めると新たな展開が生まれると思います。
C 委員	総合戦略はきめ細かく様々なことをカバーしている印象です。全国都市緑化フェアの誘致を目指すということですが、経済効果についてはどのように想定されていますか。
経済部長	誘致を目指すことを決定した段階であり、経済効果についてはこれから算出するところです。ただ、日本最大級の花のイベントで、これまでの状況から 20 万人以上の集客を見込んでいます。まちとして PR 効果が非常に高いと考えており、高い経済効果が期待できます。
座長	経済効果の話題が出ましたが、単に消費が高まるだけでなく、恵庭としてのブランド力の向上・発信が大きなテーマなので、うまく活用できる機会として捉えると非常に大きな効果がありそうですね。
D 委員	感想ですが、具体的な施策が全体的に網羅されており、取組みが進むと人口減少を和らげるだけの効果が出てくると思います。このような取組みを積み重ねてきた結果が、アンケートで 9 割以上の方が住みよいまちと回答してくださったことに繋がっていると感じました。 仕事上、住宅や工業団地に関心がありますが、スマート農業の推進や観光などは北海道の魅力を活かした産業に繋がっていく部分だと思うので、総合戦略の中で謳われていることがポイントになると思います。
E 委員	具体的な施策が挙げられていて、細かく網羅されていると思います。2 点質問ですが、戸磯南工業団地が好評で完売とのことですが、新たな工業団地の造成計画の有無についてと、農畜産物直売所かのなの跡地の整備について、スケジュールや具体的な状況についてお聞きしたいと思います。
副市長	戸磯南工業団地につきましては想定よりも早く完売いたしました。工業団地を新たに拡大するのは難しい状況で、当面は企業が所有している土地への斡旋に重点を置いて取り組みたいと考えております。 かのなの跡地に関しましては、現在サウンディング調査を実施しておりますが、恵庭市としては市内の事業者が参画することが望ましいと考えておりますので、全国展開している企業と地元の事業者が連携できるような形態を目指して取組みを進めたいと考えております。
F 委員	2 点質問ですが、多世代交流の推進とありますが、具体的にはどのような手法を検討しているのかと、ふるさと教育について新たな手法の検討を進めているのかをお聞きしたいと思います。
教育部長	ふるさと教育につきましては、平成 24 年度に恵庭市学校教育方針を策定

	<p>し、「ふるさとに学び、ふるさとに生きる子ども」を「めざす子ども像」の一つとしております。これまでも副読本を作成しておりますが、2020年度から新たな学習指導要領が始まるため、また新たな副読本を作成し、ふるさと教育を推進していこうと考えています。また、恵庭市では図書館や郷土資料館等も連携し、子どもたちの郷土愛がより深まるような取組みを行っておりますので、継続して参ります。</p>
市長	<p>多世代交流に関しまして、恵庭市は施設の複合化を進めており、黄金ふれあいセンター、かしのもり、えにあすが複合化施設として、多世代が集まれる場所となっております。これからは交流事業がさらに盛んになればと考えており、市民団体の方々とも連携していきたいと思っております。</p>
G 委員	<p>英語教育の推進とありますが、具体的にお聞きできますか。</p>
教育部長	<p>新たな学習指導要領で小学校 5.6 年生を対象に外国語教育が、3.4 年生でも外国語活動が始まり、「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」の 4 つの力を育む授業が始まります。加えて、市内の中学 2 年生を対象に英検 IBA を導入して学力の向上につなげていこうと考えています。</p>
G 委員	<p>英語は話せないという意味がないと考えております。外国との行き来が増えていることや将来のためにも、恵庭の子どもたちが日常会話レベルに到達できると、まちにとっても強みになると思っております。</p>
教育部長	<p>話せる英語というのは非常に重要だと感じており、先ほどもお話ししましたが、「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」を総合的に育むことが大切だと考えています。生の英語を聞いて話すために、ALT を 4 名配置して教育環境の充実を図っております。</p>
市長	<p>子どもたちが英語を学ぶ環境をどのように作り、どのように参加させていくのかは非常に重要なことだと考えております。</p>
座長	<p>外国語は外国人との共生の観点で地方創生の一つのテーマとなっており、単なる学校教育としての英語だけではなく、まちづくりとして幅広い視点で議論が展開されるような状況づくりが重要だと思います。</p>
副座長	<p>非常にまとまりのある総合戦略だと感じましたが、関係人口の拡大のための具体的な取組みの有無につきましてお聞きします。それと、スマート農業の話題がありましたが、Society5.0 に関連した AI、IoT の活用の他に検討されている項目の有無と、総合戦略の施策と SDG s との関連についてお聞かせください。</p>
企画振興部長	<p>関係人口の拡大につきましては、これまで進めてきた花の拠点に関する取組みを継続していくことと、全国都市緑化フェアの誘致をすることでさらなる拡大を見込めると考えております。それに加えて、恵庭を知っていただく取組みとしてシティセールスを展開しており、恵庭の魅力づくり、恵庭なら</p>

	<p>ではの暮らしづくりとして「恵庭ではこんな幸福で上質な暮らしができる」をテーマにライフスタイルを発信していきたいと考えています。</p> <p>Society5.0 につきましては、PFI の推進に AI や IoT の活用を検討しておりますが、加えて RPA という単純業務をロボット化する取組みを進めております。現在、税務課で一部の業務に RPA を導入しており、企画課では民間事業者も加えて RPA 化の検討を進めております。</p> <p>SDG s につきましては、テーマが幅広いことから明記しておりませんが、環境関係、防災関係といった項目に関連した施策を挙げております。</p>
副座長	<p>SDG s については、関連する施策として表記している自治体もありますし、道の総合戦略でも表記しているので検討していただければと思います。</p> <p>地域産業活性化の KPI について、以前は産業 PR イベントの数値が掲載されていましたが、ふるさと納税額のみになっていて違和感があります。他の項目を設定することは検討されないのでしょうか。</p>
企画振興部長	<p>地域再生計画と関連した産業関係のイベントを継続できない可能性もありまして、ふるさと納税が今年度 7 億円を見込んでおり、好評なことから KPI の項目として設定しました。ご意見いただきましたことを受けとめ、検討いたします。</p>
市長	<p>SDG s や Society5.0 に関連した施策を表示できるよう工夫いたします。</p> <p>関係人口に関しては、ふるさと納税やサテライトオフィス、ワーケーションも関係人口の拡大につながると考えており、どのようにつけていくか検討を進めたいと思います。</p>
座長	<p>ふるさと納税が産業活性化の指標としてふさわしいのかという議論がありましたが、ふさわしいものがなければ掲載しなくてもいいと思います。</p> <p>他にご意見はございますか。</p>
A 委員	<p>平成 30 年の合計特殊出生率が全国平均と比較すると少し低いようです。5 年後の目標として 1.60 と高い数値が掲載されていますが、背景をお聞きできますか。</p>
企画振興部長	<p>合計特殊出生率につきましては、社会保障・人口問題研究所の推計に基づいて 1.60 としております。</p>
A 委員	<p>高等教育機関として、子どもが減少すると存続できなくなる可能性があり、希望を持って子育てしたくなるまちづくりに注力していただきたいと考えています。他人との関わりがない時代ですが、虐待や孤独死を防止する観点からも、おせっかいなまちづくりを施策として具体的に盛り込む必要があると感じました。</p>
座長	<p>出生率の目標を市町村ベースで考えるのは難しい問題で、国の施策として子育て支援に本格的に取り組まないかぎり、出生率の向上は見込めないと感</p>

	<p>じています。率だけの問題ではないことから、子どもを産み育てることに前向きになれるような地域づくりをしていくことに重点をおいて議論を進めることが重要だと思います。</p> <p>総括的なお話をさせていただきますと、人口減少に向き合う時代の政策づくりとしながらも、恵庭市の場合は人口が増加し、工業団地も完売したという状況で、どのような総合戦略を進めていけばいいのか難しいところだと思います。先ほど副市長からかのなについて、地元の参画というお話がありましたが、地方における総合戦略としては重要なことで、域内循環の中で生まれた付加価値が地域の GDP、GNP になり、経済の力が高まる姿を示すことが目指す軸になります。多世代交流の推進については、恵庭らしい重要な施策の柱であり、裏付ける取組みを進めていることを総合戦略の中で発信していくというのではないかと感じました。関係人口については、住民だけでなく、観光消費をもたらす交流人口等、恵庭と関わる人を「関係人口」と位置付けて議論が提起されていますが、関係人口の掘り下げが重要な議論です。ふるさと納税が好調であれば、どのような方がふるさと納税をしてくださっているのかを掘り下げ、関心を施策につなげていくことも大切だと思います。SDGs に関しては、本格的な総合政策ですから記載しただけで中身が伴わなければマイナスの発信にもなってしまいます。時代の潮流になっている言葉を恵庭らしくしっかりと具体的に受け止めることが重要だと感じました。</p> <p>市長から感想をお聞かせいただければと思います。</p>
市長	<p>貴重なご意見をお聞かせいただき、ありがとうございます。10年前に都市計画マスタープランの見直しのための調査をしたときは多くの消費が流出していましたが、商業施設の状態も変化し、消費の流出が一定程度抑えられたのではないかと感じています。これからさらに域内経済の活性化に向けて検討を進めなければなりません、できる限り地元の事業者に参加していただきたいと考えており、中小企業のモチベーションを高めることが重要なテーマだと考えています。商業ではネットショッピングと戦うことになり、厳しい状況ですが、顔の見える商売というのは強みだと思いますので積極的な事業者を増やす工夫を考えていきたいと思っています。</p>
座長	<p>域内循環の結びつきを高めていくことは、人口減少時代における地域経済戦略の非常に重要なことだと思っておりますので、産業連関表を活用しながら魅力ある商業施設を育てていただければと思います。</p> <p>最初に地方創生が進められたときに「まち・ひと・しごと」という明確なテーマがあり、「仕事」が視点でした。仕事がないことが人が定着しない理由となっていました、この5年で急速に人手不足が課題となりました。人口減少の一番の問題は経済が衰退していくことだと思われていましたが、需要</p>

	<p>側ではなく供給側の担い手不足という厳しい状況になり、従来型の仕事をつくることで地域の活性化につながるという枠組みがあてはまらなくなっていくと思います。こういった状況の中で恵庭市の人口が増加しているということは、人々が住むための質を持っているということだと思いますので、活用するような政策を進めていくことが結果的に総合戦略につながる大切なことではないかと感じています。</p> <p>委員の皆様方から出たご意見を含めて再構築し、よりよい案にしていいただければと思います。他にご意見がなければ、事務局から連絡事項をお願いします。</p>
司会	【次第 4. その他】
一同	どうもありがとうございました。